

**授業概要**

経済とは何か、経済学とはどのような学問かを知り、資本主義経済の歴史と経済学の理論の基礎を学ぶと同時に、経済に関する時事問題への関心を深めることを目標とする。

**授業計画**

第1回	経済とは何か
第2回	社会と貨幣
第3回	資本主義の生成
第4回	資本主義の確立
第5回	アダム・スミスの経済学
第6回	貨幣の価値尺度機能
第7回	貨幣の流通手段機能
第8回	授業内の中間試験
第9回	富としての貨幣
第10回	貨幣数量説
第11回	アベノミクスの経済学
第12回	資本主義の変容
第13回	国際通貨システムの変容
第14回	紙幣と金
第15回	復習
第16回	定期試験

**到達目標**

経済学とはどのような学問かについてのイメージを確立すること。  
経済関連のニュースがある程度理解できるようになること。  
資本主義経済の特徴を理解すること。

**履修上の注意**

板書は多い方なのでノートを中心に学習すること。

**予習復習**

授業ノートの整理をしておくこと。

**評価方法**

定期試験を中心に評価するが、中間試験を加味する。授業中の発言を評価に加える。

**テキスト**

特になし。必要に応じて授業中に指示する。

**授業概要**

この授業では、戦後から現在までの日本経済史を中心に講義するなかで、経済学で使う専門用語の解説や、やさしい経済理論や政策などについて解説します。

**授業計画**

第1回	ガイダンス（授業の進め方）
第2回	終戦直後の日本の状況
第3回	昭和30年代から始まった高度経済成長1
第4回	昭和30年代から始まった高度経済成長2
第5回	昭和30年代から始まった高度経済成長3
第6回	昭和30年代から始まった高度経済成長4
第7回	昭和30年代から始まった高度経済成長5
第8回	昭和50年代の安定成長期1
第9回	昭和50年代の安定成長期2
第10回	昭和50年代の安定成長期3
第11回	バブル経済と平成の時代
第12回	バブル景気
第13回	バブル崩壊と失われた20年1
第14回	バブル崩壊と失われた20年2
第15回	まとめ
第16回	テスト

**到達目標**

授業で話す内容の中にいくつもの経済専門用語が出てきますが、これらを理解することが重要となります。

**履修上の注意**

経済（学）と聞くと難しいと思われる方にも興味を持てるような授業を心がけていますので、興味のない人でも履修してもよいと思いますが、できれば興味・関心のある方の履修をお勧めします。

**予習復習**

復習が重要です。

**評価方法**

テストと出席状況から評価します。

**テキスト**

使用しません。